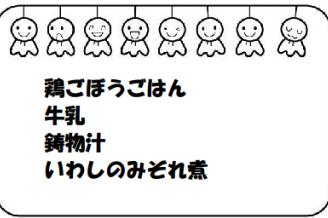
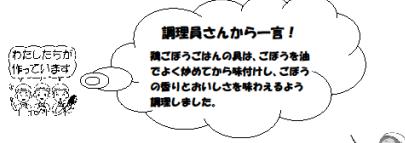


6月7日 ランチインフォメーション



ごぼうは古くから日本にある野菜で、平安時代の『管絃』の成立にも使われていたそうです。食事繊維が豊富に含まれているので、肌荒れや便秘の予防に大きな効果があります。

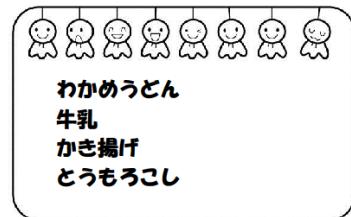


今日のアレルギー

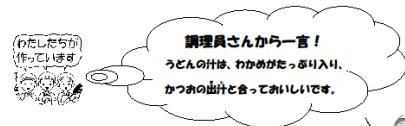
鶏ごぼうごはん：鶏肉、油揚げ（大豆）、枝豆（大豆）、こいくちしょうゆ（小麦、大豆）
牛乳：乳
鰯物汁：豆腐（大豆）、ごま油（ごま）、彩花みそ（大豆）
いわしのみぞれ煮：小麦、大豆



6月15日 ランチインフォメーション



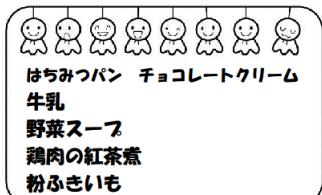
わかめうどんのうどんは、埼玉県産の小麦を使って作られています。実は埼玉県では小麦の生産量が多く、質のよい小麦がたくさんとれるため、この粉を利用しためん類がさかんに作られています。給食でも、めんやパンに積極的に使われています。



今日のアレルギー

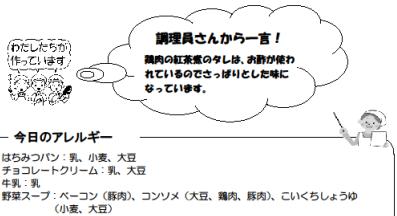
わかめうどん：地鶏うどん（小麦）、豚肉、こいくちしょうゆ（小麦、大豆）
牛乳：乳
かき揚げ：えびとかのかき揚げ（小麦、大豆、えび、いか）

6月19日 ランチインフォメーション



じゃがいもは主食にも使われる「いも類」で、でんぶんがたっぷりですが、ビタミンCもたくさん含まれています。ビタミンCは熱に弱い野菜ですが、じゃがいものビタミンCはでんぶんに含まれているため、熱にこわれにくく貴重を持っています。そのため、効率的にビタミンCをとることができます。ちなみに、今日の粉ふきいもに使われているじゃがいものは、地中全体で何kgでしょうか？

※ヒント：地中は今年で10周年です



今日のアレルギー

はちみつパン：乳、小麦、大豆
チョコレートクリーム：乳、大豆
牛乳：乳
野菜スープ：ベーコン（豚肉）、コンソメ（大豆、鶏肉、豚肉）、こいくちしょうゆ（小麦、大豆）
鶏肉の紅茶煮：鶏肉、こいくちしょうゆ（小麦、大豆）

